

## プレゼンテーション①

「市民の力で“<sup>みやこ</sup>宮古まち”に賑わいを」

中心市街地に賑わいを生み出す取り組みを行っている市民+学生のグループ

### 【アドバイザー】

内田 信平（盛岡短期大学部 准教授）

### 【発表者】

小沢 愛美（盛岡短期大学部 2年）

【内田】 皆さん、こんにちは。最初の発表をさせていただきます、岩手県立大学盛岡短期大学部に所属しております内田と申します。

【小沢】 盛岡短期大学部2年、小沢愛美と申します。よろしく申し上げます。

【内田】 今日のテーマは「市民の力で“<sup>みやこ</sup>宮古まち”に賑わいを」ということで報告させていただきたいと思います。ちょうど2年前の今頃から、まちづくり市民会議というグループで、宮古市内の高校生から40代ぐらいまでの若い市民の方や県立大の学生、弘前大の学生にも入ってもらって、まちづくりについていろいろ話し合うという活動をしてきました。そこで話し合われたことを基に、11月6日に「みやこ・わくわくストリート」という名前で、まち中でちょっとしたイベントを開くことができました。この2年間の流れを報告したいと思います。

最初の1年目の話は私が報告して、2年目からの話は参加してくれた小沢さんに報告してもらおうようにしたいと思います。

こちらは、シーズン1と書いてありますが、これがおととしの11月から去年の8月まで行った活動です。合計8回のワークショップを実施して、最終回は山本市長の前で、こういうことを私たちはまち中でやりたいと考

えているよということをプレゼンテーションしました。

まずは、第1回は、そもそもワークショップとは何なのかということや、まちづくりとは、何かをつくっていくのではなくて、私たちが市民としてそこでどう過ごすか考え、そしてそれを持続的にやっていくことだという、「まち育て」の考え方についての基調講演を聞いた後に、どんなまちが賑わっているまちなのだろうかということを、意見を出し合って発表しました。

そして、第2回では、そのまちが賑わっているというイメージを実現するためにはどんなアイデアがあったらいいだろうということで、各グループに分かれて話し合いをしました。よくある形式で、ポストイットに自分の意見を書いて模造紙に貼っていくというスタイルで行いました。

しかし、会議室の中だけでやっても、なかなかイメージが具体化してこないというところがありました。それで、第3回ではちょっと実際にまちを歩いてみようということで、まち歩きワークショップというものを行いました。このおかげで宮古の地元の人たちには、地元の新たな魅力を発見する機会になったと思いますし、逆に県立大の学生、弘前大の学生は、外の人間からの視点で、宮古というあまり知らないまちのおもしろさに気づく、そういうきっかけになったのだらうと思います。

そして、次の第4回はそのまち歩きで得られた情報をもとに、まち歩きマップとしてまとめる作業を行いました。

第5回のワークショップは、まち歩きをした際、宮古の歴史的な古いものに興味があるという話がたくさん出てきたため、作業をするというよりも特別講座ということで、タウン情報社の橋本さんに来ていただいて、昔の宮古のまちの様子を紹介してもらった回にしました。

そして、意見をまとめていこうという段階になってきて、第6回、第7回のワークショップでは、シナリオづくりという手法を取り入れてみました。どんなものが欲しいかや、どんなまちにしたいかというのではなくて、私たちはこのまちでこんなふうに過ごしたいということをイメージしても

らおうと思いました。そして、ある休みの土曜日に私はこのまちで、例えばここでちょっと散歩してから、こういったところで座ってコーヒーを飲んで文庫本でも読んでみたい…など、実際にそのまちで過ごすことをイメージしたシナリオづくりワークショップを行いました。それを1つのストーリーにまとめて最終回、去年の8月に、山本市長の前でプレゼンテーションしました。まち歩きという要素を入れたり、あるいはシナリオづくりという要素を入れたりすることによって、大きなデパートが欲しい、アーケード街が欲しいというのではなくて、何をしたいか、どう過ごしたいかという視点での意見共有ができた1年だったのではないのかと思っています。

では、2年目、シーズン2以降の話は小沢さんにバトンタッチします。

**【小沢】** 第1期メンバーを中心に、第2期の活動が平成27年12月から始まりました。今年9月までにアイデアの実現に向けたワークショップ形式での話し合いを計7回実施しました。ここでは各回で話し合った内容を紹介します。

第1回のワークショップでは、私を含めて初めて市民会議に参加した人もいたため、第1期の話し合い内容を共有するとともに、スポーツ系、広場あそび系、ステージ系、マルシェ系、リラックス系の5つのグループに分かれてアイデアを出し合って班ごとに共有しました。第2回のワークショップでは、アイデアの実現に向けて市役所跡地とまちをどうつなげるかということを考えながら、具体的にいつ、誰が、どこで実現するのかということをイメージしながら話し合いを行いました。

第3回のワークショップでは、実現するためのフィールドを見つけるために、第1期でも行ったように実際にまちを歩いてみました。その後、各グループごとに実施したいプロジェクトを書き出して、実現できるか、また実現するとしたらどのような問題があるかというのを考えながら課題を整理しました。最後に、実現したい案へ1人何票かシールを貼って投票を

行いました。

第4回のワークショップでは、主に実施場所に注目しながらグループ分けをしました。ここで「健康長生きプロジェクト」「宮古市アクティ部フェスティバル」、「大人と子どもが楽しめる場所（後に昭和感プロジェクト）」、「茶っとプロジェクト」といった4つのグループができました。

第5回のワークショップでは、各プロジェクトを実現するための戦略会議を行いました。具体的にいつ行うのか、またどこでやるのか、実現するためにどういうものが必要なのか、そして、解決すべき課題は何かなどについて話し合いました。この時点ではイベントの実施日は10月23日、24日の2日間の予定でした。

第6回のワークショップでは、第5回の内容を踏まえて、さらに具体的な実施内容について検討しました。ここで全体の名称が「みやこ・わくわくストリート2016」に決定しました。

第7回のワークショップでは、台風10号の影響により、イベントの実施日程を2週間延期して11月6日に開催することを決定しました。また、第5回、第6回に引き続いてプロジェクトごとに具体的な実施内容や準備に取りかかりました。

計7回のワークショップを通じて、自分たちで考えた中心市街地に賑わいを生み出すアイデアが具体的になり、実施に向けての準備を進めてきました。また、各メンバーの情報交換や情報発信のための宮古市市民まちづくり市民会議のフェイスブックページも立ち上げることになりました。

ここからは、11月6日実際に行った「みやこ・わくわくストリート2016」の報告をします。平成28年11月6日日曜日の午前10時より、末広町商店街から市役所分庁舎駐車場までの3カ所のエリアを会場として「みやこ・わくわくストリート2016」を開催しました。当日は天気にも恵まれてたくさんの市民の皆さんに御来場いただきました。

ここでは4つのプロジェクトをそれぞれ紹介します。「宮古市アクティ

部フェスティバル2016」は、商店街の駐車場をお借りしてスポーツ体験広場を設けました。スラックライン、キックターゲット、ストラックアウトという3つの競技を用意し、得られたポイントに応じて最後に水鉄砲で景品をもらえるチャンスを与えるという仕組みにしました。こちらはたくさんの子供たちがチャレンジしてくれました。

「茶っとプロジェクト」は、商店街にある小成園さんの2階のスペースを利用したカフェです。コーヒーと洋菓子のセット、または抹茶と羊羹のセットを用意しました。また、同じ会場には小さな紙にメッセージや絵を描いて台紙に貼る参加型モザイクアートというものも実施しました。こちらもたくさんの子供連れの御家族に会場に会場にいただきました。

次に、「健康長生きプロジェクト」についてです。先ほどの「茶っとプロジェクト」と同じく小成園さんの2階をお借りして、午前11時から1時間のヨガ体験を実施しました。また、ヨガを体験した後は、地元の潮風ハーブを使用したハーブティーの試飲も行いました。参加した方からは、ヨガをしてみたかったので体験できてよかったなどの声がありました。

最後は「昭和感プロジェクト」についてです。市役所分庁舎の駐車場が昭和の香りが漂う場所に変身しました。駄菓子や昔のおもちゃの販売のほか、けん玉やメンコなどの昔遊び体験をできるコーナーも設けました。また、駐車場にチョークでお絵描きをするフリーチョークアートというものも実施しました。子供だけではなく大人の方も昔を思い出しながら楽しめる場となりました。

私はこの「みやこ・わくわくストリート」に参加して、想像以上にたくさんの方が参加してくれたことがとてもうれしかったです。小成園さんの2階をお借りして行ったカフェでは、モザイクアートを行ったと話しましたが、そこで書いてもらったメッセージの中には「楽しかったからまた来年も実施してほしい」といった子供たちのメッセージもあって、今後も継続的にできるイベントになったのではないかと考えています。

また、宮古市のまちづくり市民会議に参加した感想としては、私はこれまで大人の方と関わって意見交換をするという機会がなく、初めてだったのですが、私たち学生が考える意見と大人の方が持っている意見というのは全然違っているということがわかり、それを共有できる貴重な体験だったと考えています。そして、自分で一からこのようなイベントを企画して実施することで、様々な改善点も見つけることができたので非常にためになり、楽しかったです。また機会があったらぜひ参加したいと思います。**【内田】** それでは、私のほうからわくわくストリートと同じ日に開催した別のイベントについて紹介したいと思います。

まず、「みやこさGO！—みやっこモンスターを探せ」というイベントを同じ日に行いました。お渡ししたチラシの裏面に「みやこさGO！」というタイトルで宮古の地図が書いてあります。この地図は、昭和40年代の場所のお店の名前が書いてある懐かしの地図になっていて、いくつか星印がついています。実はこの星印のところには、「トッコ」や「コンゾーカメ」、「カゼップギー」、「ザヨース」など様々な名前のモンスターがいるのです。いると言っても印刷してパウチして、子供の目につきやすいところにピットとガムテープで貼っているだけなのですが、子供たちにそれを探してもらい、そしてモンスターを20匹全て見つけた子供には景品をあげるというイベントを仕込みました。これは、まちづくり市民会議が直接行ったというわけではなく、ある別の方が開催するというので、一緒に携わらせていただきました。正直いうと、子供だままだよな…と思っていたのですが、子供たちは喜んでくれました。10時スタートだったのですが、9時半頃から子供たちがまちの中をウロウロしていました。子供が出てくるということは、当然親も参加しますし、おじいちゃん、おばあちゃんが一緒の場合もありました。

4つのプロジェクト、それぞれ頑張っておもしろい企画をやってみたのですが、この「みやこさGO！」があったということが子供たち、家族連

れがまちに出てくる大きなきっかけになってくれたと思っています。ちなみに、このモンスターの名前はみんな宮古弁からつけられています。

それから、同じく「まんなかマルシェ」という催しも一緒に行いました。これは、宮古市内の若い世代でヒーリングサロンなどをやっている方々が、フリーマーケットやハンドメイド作品の展示販売を年に何回か自主的にやっていたりするので、せっかくだから同じ日にやりましょうということで、中央通りエリアでこのようなイベントも併催しました。

そして、さらにもう一つ、「みやこほっこり映画祭」というのが12月の初旬に予定されており、そのプレイベントとして「懐かしの宮古発見館」ということで、本町にある東屋さんというお宅の旧家の見学と、昭和時代の宮古の映像の映写をしました。こちらは割と御年配の方が多かったのですが、懐かしい映像、あるいは古い立派なお宅の中を見ることがめったにできないので、いろいろな方が集まってくれました。

この「わくわくストリート2016」は、大きな問題や事故もなく無事に終了することができました。現在それぞれ参加したメンバーから、よかったところ、そして反省点や改善点などの意見を出してもらい、それを集めているところです。これをしっかり分析、共有して、来年度以降の活動につなげていきたいと思っています。私自身、課題を感じたところはあるのですが、まずは1回目としてはおおむね成功と言っているのではないのかなと思います。

ただし、1回やって成功、はい、おしまいではないのです。大事なのはこれをいかに継続していくか、あるいはいかに発展させていくかということです。また、この2年間、実は宮古市役所の方に大変にお世話になってここまでできています。これからは、やはり市民、特に若い世代の市民が主体になっていけるように取り組みたいと思っています。やっとなんげかという段階だと思しますので、市民の力で水平飛行にもっていけるようになればと思っていますし、それが今度駅の南側にできる新しい交流施設、あ

るいは今の市庁舎の跡に整備されるであろう公園広場の利用につながって  
いけばいいのではないのかと考えています。